

京都府立医科大学附属病院で縦隔腫瘍に対する手術を受けられた  
患者様・ご家族の皆様へ

縦隔腫瘍患者の臨床病理学的特徴や術後予後に関する調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、縦隔腫瘍に対する手術を行った患者の術後再発と生存期間に関する研究「外科切除した縦隔腫瘍におけるバイオマーカーと臨床病理学的特徴・予後との関連の解明」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で縦隔腫瘍に対する手術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

**研究の目的**

本研究は、縦隔腫瘍に対する手術を受けられた方の腫瘍の特徴や手術後の再発および生存期間に影響を及ぼす可能性のあるバイオマーカー（血液検査や病理標本の解析で得られる所見）を探索し、患者さんの背景や術後再発と生存期間との関連を明らかにすることを目的としています。

**研究の方法**

・対象となる患者様について

2000（平成12年）年1月1日から2031（令和13）年3月31日までの間に、京都府立医科大学呼吸器外科で縦隔腫瘍に対する手術を受けられた患者様が対象となります。

**研究期間：** 医学倫理審査委員会承認後から2031（令和13）年3月31日

・方法

本研究は過去の記録（病歴、手術記録、病理標本、等）を用いる研究ですので、参加者となる皆様に新たな検査負担や危険が及ぶことはありません。記録から得られたさまざまな所見と手術後の経過を解析します。

・研究に用いる資料・情報について

情報：病歴、検査歴、手術歴、術後合併症等の発生状況、病理所見 等

## ・個人情報の取扱について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

## ・試料・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学大学院呼吸器外科学教室において、同教室 教授 井上匡美の責任の下、研究終了報告日から5年又は研究結果の最終公表日から3年又は論文等の発表から10年のいずれか遅い日まで保管させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な情報として利用させていただきたいと思えます。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

## ・研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 呼吸器外科教室 井上 匡美

## お問い合わせ先

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2028年（令和10年）3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

## 連絡先

京都府立医科大学呼吸器外科

職・氏名 講師・岡田 悟

電話：075-251-5023